6. 情報発信（広報・広告など）

市民サービスの向上および地域の活性化を図るため、各種媒体を活用した情報発信・広報・広告事業を進めている。

教育委員会の公式 X（旧 Twitter）では、各種サービスや行事の発信、新着資料の紹介などを随時おこなっている。令和 7 年度は 187 回の投稿で、令和 6 年度から 3 割程度投稿数が増えた。「とよなかっ子ライン」（こども安心課）においても、児童・生徒に向けて本の紹介を月 1 回おこなっている。その他、子育ち・子育て応援アプリ「とよふぁみ」（こども政策課）でも、行事の情報を随時発信した。

蛍池図書館では、入居しているルシオーレビルの LINE などで行事の発信をおこなったり、市民団体「蛍池図書館を考える会」の協力を得て、共催事業などのチラシの地域への配布をおこなうなど、普段図書館を利用していない層への情報発信も積極的におこなった。

また以下のメディアに豊中市立図書館に関する記事などが掲載された。

メディア掲載一覧

タイトル・内容等	メディア		種類
記事：動く図書館！（梅花中学校・梅花高等学校内での動く図書館巡回の紹介）	BAIKAダイアリー	2025.4	Web
告知：服部図書館でおゆずりぐるり	おゆずりぐるり公式Instagram	2025.4	
記事：駅前の風景が大きく変わるかも！？？／曽根駅前に新設される予定の「豊中市（仮称）中央図書館」は「ヴァイキングビル」跡地にできる「10 階建ての建物」の「2・3 階に入る」らしいので本当なのか調べてみた	TNN豊中報道。2	2025.6	
告知：東豊中図書館でおゆずりぐるり	おゆずりぐるり公式Instagram	2025.6	
記事：府内最古の歴史があるって知ってた？／テレビ大阪の人気番組「誰も知らんキング」で豊中市の「動く図書館」が映るみたい	TNN豊中報道。2	2025.7	
記事：「沢山の人に図書館を利用して欲しい」という願いを込めたオリジナルバッグ／岡町図書館で「としょかんバッグ」のプレゼントが行われている	TNN豊中報道。2	2025.8	
記事：豊中市立蛍池図書館、軽食を食べながら豊中市デジタル図書館が所蔵するオーディオブックを聴く「ランチタイム・ソラ」を開催	カレントアウェアネス-R	2025.8	
告知：岡町図書館でおゆずりぐるり	おゆずりぐるり公式Instagram	2025.8	
記事：作家・増山実さんのお話が聞けるチャンス／岡町図書館で「増山実の世界～昼下がりのトヨナカで～」が開催されるみたい	TNN豊中報道。2	2025.9	
Library of the Year 2025 のライブラリアンシップ賞・優秀賞の受賞機関が発表（北摂アーカイブス）	カレントアウェアネス-R	2025.9	

タイトル・内容等	メディア		種類
記事:岡町図書館で行われた豊中市立図書館80周年記念行事「増山実の世界～昼下がりのトヨナカで～」に行ってきた	TNN豊中報道。2	2025.10	Web
記事：曽根駅前に新設される予定の「豊中市（仮称）中央図書館」の計画に変更があるみたい／読書振興課に話を聞いて来た	TNN豊中報道。2	2025.10	
告知：野畑図書館でおゆずりぐるり	おゆずりぐるり 公式Instagram	2025.10	
報告：健康わくわく広場@蛍池図書館	大阪北部ヤクルト 公式Webサイト・ Instagram	2025.11	
記事：曽根駅前に新設される予定だった「豊中市（仮称）中央図書館」の計画が白紙に／市は第二候補地だった豊島公園での整備を検討するって	TNN豊中報道。2	2025.11	
紹介：きどまや絵本パネル展『なんじなんぷんなんのじかん？』 告知：「豊中在住の絵本作家・きどまやさんと絵本を楽しむワークショップ」	『SMILE』 公式Instagram	2025.11	
告知：きどまや絵本パネル展『なんじなんぷんなんのじかん？』	きどまや 公式Instagram	2025.12	
移動図書館特集 ・積載冊数ランキングで第3位にランクイン ・アルビス旭丘での巡回風景と利用者3名のインタビュー ・市町村立では日本最古であることの紹介　等	テレビ大阪「大阪43市町村を大調査！誰も知らんキング」	2025.7	TV
蛍池図書館リニューアルオープンと「ほたるえほんサロン」の紹介	FM千里	2025.4	ラジオ
リニューアルオープン記念事業「紫式部の世界にふれる～『源氏物語』と紫式部～」の紹介	FM千里	2025.5	ラジオ
記事：蛍ケ池 再び光舞う日を（蛍池図書館で開催した講演「ほ、ほ、蛍 来い」の、講師の活動を紹介）	毎日新聞北摂版	2025.6	新聞
しょうないREK 18年の軌跡	図書館雑誌	2025年4月号	雑誌
避難所における子どもの居場所：避難所向け絵本の選定	人間と文化	2025年 巻8	雑誌 (学術機関リポジトリにて電子のみ発行)
記事：図書館が生まれた（蛍池図書館のリニューアルの紹介）	図書館の学校	2025年冬号	機関紙･PR 誌
表紙イラストに蛍池図書館、「今月の表紙」に蛍池図書館の紹介	aperitif	2025年 6-7月号	

タイトル・内容等	メディア		種類
UR賃貸住宅「東豊中第2」図書館徒歩圏内、写真付きで東豊中図書館を紹介	あんふぁん	2025年8月号	ミニコミ誌
「豊中在住の絵本作家･きどまやさんと絵本を楽しむワークショップ」案内（蛍池図書館共催）	SMILE	第29号	
記事：みんなでつながるーむ（「絵本を楽しむワークショップ」報告）		第30号	
6・7月巡回日程（北会館・天理教会・アトリオ前)、蛍池図書館リニューアルのお知らせ	ふるさと刀根山	vol.38 (2025.6)	校区広報誌
9～11月巡回日程（北会館・天理教会・アトリオ前)、蛍池図書館「相続対策のポイント」「スマホ相談会」案内		vol.39 (2025.9)	
12・1月巡回日程（北会館・天理教会・アトリオ前)、「動く図書館 75周年記念イベント」案内		vol.40 (2025.12)	
3～5月巡回日程（北会館・天理教会・アトリオ前)、蛍池図書館「ほっとブックミーツ」案内		vol.41 (2026.3)	

7. 職員による出前講座・講師派遣、視察

各種イベントや講座会場など市内外のさまざまな市民参加の場に出向いて、関係機関と連携しながら講座や資料提供をおこなっている。テーマにそった関連資料を紹介・提供し、子どもから大人まですべての世代が読書に親しむ機会や、より広く深く情報を得られる機会となるよう努めている。

出前講座

＜子育て中の保護者を対象にした絵本講座＞
「子育てサークル・子育てサロン」「千里親子ふれあい広場」等
＜学びの場での子どもの読書に役立つ図書館活用講座＞
「新任学校司書研修」「校内研修」「マチカネ先生塾」
＜おはなしボランティアを対象とした絵本講座＞
「みなさくおはなしタイムフォローアップ講座」「絵本を楽しむ、絵本を知る～2025 年出版の絵本を中心に、傾向を見る～」
＜（仮称）中央図書館関連＞
「(仮称)中央図書館整備について」

各種講座での資料・図書館紹介

「認知症サポーター養成講座」「医療健康情報レクチャー「健口で健康長寿に」」公民館各種講座　等

講師派遣

図書館基礎講座 2025 in 関西
図書館総合展 2025 フォーラム in 茨木

視察等受入れ

＜視察＞　（　　）は受入施設
・茨木市おにクルぶっくぱーく、座間市議会、諏訪市議会、ふじみ野市議会、塩尻市議会、嘉手納町議会、追手門学院大学図書館：図書館で一時保育（岡町図書館）
・四国大学：ブックプラネット事業（岡町図書館）
・箕面市子ども未来部：ブックスタート事業（千里図書館）
・(一財)千里パブリックデザイン、天理大学：北摂アーカイブス（岡町図書館）　　等
＜インターンシップ・実務研修＞
・京都女子大学、関西大学、京都精華大学：図書館実習（岡町、千里、野畑図書館）
・豊中高校ボランティア志学：図書館ボランティア（岡町、庄内、千里、東豊中、蛍池図書館）
・京都橘大学、箕面自由学園高校：図書館ボランティア（岡町、蛍池図書館）
・サポートセンターる～ぷ、就労移行支援ハンズ：就労移行事業（庄内、蛍池図書館）

8. 図書館協議会

令和 7 年度は 3 回（8、12、3 月）開催された。

同年度は新たに「動く図書館の今後の方向性について」をテーマとして取り上げ、協議をおこなった。

会議録は図書館 Web サイトで公開している。

令和 7 年度の委員一覧

名　前	団 体 名・役 職 等
田 辺　　譲	小学校長会代表
杉 本　光 子	中学校長会代表
藤 井　典 子	こども園長会代表
昇　　麗 子	豊中子ども文庫連絡会
樋 口　弘 子	豊中図書館の未来を考える会
◎　福 井　佑 介	学識経験者
○　山 本　晃 輔	学識経験者
森　美 由 紀	学識経験者
中　　和 久	市民公募

◎委員長　○委員長職務代理者

9. 図書館評価

図書館運営を振り返り、効果的・効率的な運営と、より一層の図書館サービスの向上および地域との情報共有を図る仕組みとして、平成 20 年度から「豊中市立図書館評価システム」（以下、「評価システム」という。）を導入し、図書館運営に関する自己点検と外部評価を実施している。毎年の評価項目・指標については「豊中市の図書館活動Ⅱ 統計・資料」に簡略化して掲載している。

それまで評価システムでおこなっていた進捗管理を「豊中市立図書館の中長期計画（豊中市立図書館グランドデザイン)」（以下、「グランドデザイン」という。）の策定を機に、平成 26 年度からはグランドデザインの進行管理と一体化した。さらに令和 2 年度は、「豊中市（仮称）中央図書館基本構想」（以下、「基本構想」という。）の策定に際し、グランドデザインの目標設定や進行管理は基本構想に包含する形で継承されることとなった。

評価項目の一つである満足度を把握するための来館者アンケートを、従来 5 年ごとにおこなっていた。前回の評価委員会から、5 年ごとでは利用者ニーズの把握が充分ではないとの意見を受けたことから、中間年である令和 7 年度（2 月）に実施した。内容は、満足度調査の部分を従来と同じ項目でおこない、その他の部分は昨今の図書館でのトピックスを反映したものとし、図書館協議会での意見交換を経て決定した。この調査によって、利用者のニーズなどを把握し、より一層のサービス向上に取り組んでいく。

10. とよなかブックプラネット事業

学齢期の子どもたちの多様な読書・学習活動をささえるため、学校図書館と公共図書館の蔵書を一体的かつ効果的に活用する環境を整備し、相互の連携強化に取り組んでいる。

夏休みに、休館日の図書館（岡町、庄内、千里、野畑図書館）を利用し、学校司書と連携して、小学校 4～6 年生の児童が調べ学習の一連の流れを体験する「知的探究合戦 めざせ！図書館の達人」を開催した。12 月に豊中市立文化芸術センター小ホールでおこなった「子ども読書活動フォーラム」では、「図書館の達人」の優勝 4 チームの表彰と、「豊中市ビブリオバトルチャンピオンシップ中学生大会」を実施し、児童生徒の成果発表の場として、読書活動・学習活動の活性化を図った。また、学校図書館活用データベースの教員用アカウントを各校に配布し、教員がアクセスしやすい環境を整えるとともに、授業活用記録の登録を全校に依頼し、37 件の登録があった。

11. 豊中市（仮称）中央図書館基本構想

「豊中市（仮称）中央図書館基本構想」の推進にあたり、令和 7 年度に実施した主な取り組みは以下のとおり。

◆（仮称）中央図書館整備計画説明会

6 月に中央公民館を会場に、令和 6 年度に策定した「豊中市（仮称）中央図書館整備計画」について、市の考え方を説明し、市民から意見を聞き取る機会を設けた。33 人の参加があった。

◆曽根駅周辺まちづくりプロジェクト・チームの発足

11 月に第一優先候補地での（仮称）中央図書館整備を断念し、令和 8 年 1 月に岡町図書館、中央公民館の 2 会場で、計画変更に関する説明会を実施した。

第 2 候補地の豊島公園での整備について調査・検討を始め、令和 8 年 1 月からは新しく始動した曽根駅周辺まちづくりプロジェクト・チームの中で取り組みを継続。3 月には同チーム主催の「曽根駅周辺まちづくりワークショップ」にて、豊島公園や曽根駅周辺のまちづくりの未来について市民から意見を聴いた。

◆市民ワークショップ「（仮称）中央図書館をつくろう 3」

豊島公園での整備で広がる図書館の可能性や、図書館と公園を中心とする曽根駅周辺エリアでのすごし方など、候補地変更の検討を踏まえたワークショップを市内 3 か所でおこなった。

参加者個人のライフスタイルをもとに、グループごとに割り振った架空の市民を想定して意見交換をおこない、必要な空間やモノ・サービスについて検討した。

■参加人数　千里文化センター「コラボ」：11 人
　　庄内コラボセンター「ショコラ」：10 人
　　中央公民館：19 人

◆ その他、市民との関係づくり

取り組みを市民と共有するため「図書館みらい通信」を 12 回発行した。また、「子ども健やか育みフォーラム」の会場（アクア文化ホール）で、育児に関心のある人を対象に、（仮称）中央図書館へ期待することのシール投票をおこなった。